

基本
目標

1

いつまでも住み続けたい安全・安心なまち

防災・減災対策

- ・想定される大規模な激甚災害に備えるため、本市の地理的特徴による浸水被害の発生が懸念されていることを十分に踏まえ、緊急時避難場所の確保や、広域避難に関する協定など、各種災害協定の締結を進めます。
- ・円滑な避難が行えるよう、1次開設避難所を中心に「地震解錠ボックス」を設置します。



防犯・交通安全対策

- ・地域防犯力の強化に向けて、警察、市防犯協会、地域の自主防犯パトロール隊と相互連携をし、市内巡回やキャンペーンなどを行い、市民一人一人が高い防犯意識を持ち行動できるよう啓発活動に努め、自治会への防犯カメラ設置補助を継続します。
- ・交通事故撲滅に向けては、小・中・高校生や高齢者などを対象とした自転車用ヘルメットの購入補助事業を継続します。

環境衛生対策

- ・ごみ処理および生活排水処理に関する施策を総合的かつ計画的に推進するため、令和5年度を始期とする弥富市一般廃棄物処理基本計画を策定しました。この計画に基づき、環境負荷の少ない循環型社会の実現に向け取り組みます。

基本
目標

2

笑顔あふれる、健やかで共に支え合うまち

子育て支援

- ・弥富市子ども・子育て支援事業計画に基づき、関係機関と連携を図り、安心して子どもを産み育てられるよう、子育て支援施策の充実に努めます。
- ・弥富市公立保育所の民営化基本方針に基づき、多様化する教育・保育ニーズに対応できるよう、保育所の民営化および認定こども園化に向け、令和7年度から市立ひので保育所を指定候補法人にスムーズに移管するための取り組みを進めます。
- ・保育所情報配信システムや児童クラブ管理システムを導入し、保護者および施設職員双方の負担軽減を図ります。

高齢者支援

- ・高齢社会が進むに伴い、認知症の方も増えてくることが予想される中、早期発見や認知症を理解することなど、社会全体で支えていく環境づくりのためにも、認知症初期集中支援チームや認知症地域支援推進員の方々とも連携を密にして、認知症サポーター養成講座や認知症家族交流会を開催するなど認知症施策を推進します。
- ・「第9期介護保険事業計画・高齢者福祉計画」の策定に向けて、令和4年度に実施しました高齢者および介護家族へのアンケートやニーズ調査の結果を基に特性に応じた計画の策定に取り組みます。

健康づくり

- ・市民一人一人が自主的な健康づくりに取り組むことができるよう、知識や意欲向上を目指し、各種健康教育事業の充実、健康マイレージの普及啓発を推進するとともに疾病の早期発見・早期治療のために定期的ながん検診受診の重要性を啓発し、受診率の向上を目指します。
- ・国の「出産・子育て応援交付金」を活用し、妊娠期から出産・子育てまで一貫して相談に応じ、必要な支援につなぐ、「伴走型相談支援」と「経済的支援」を併せて実施します。
- ・加齢や疲労、ストレスに伴う免疫力の低下により、発症リスクが高まる带状疱疹を予防するため、50歳以上の方を対象に、带状疱疹予防接種費用の一部を助成するとともに、おたふくかぜの発症および重症化を予防するため、1歳から2歳未満と日本小児学会が推奨する小学校就学前の1年間に接種するおたふくかぜ予防接種費用の一部を助成します。

国民健康保険事業

- ・将来にわたって安定的な国民健康保険制度を確保するとともに、特定健康診査受診率の向上に努めます。

障がい者支援

- ・社会情勢の変化や市民ニーズを踏まえ、障がい者施策の総合的な展開・推進を図るため、「障がい者計画」を策定します。

- ・障がい福祉サービスなどの提供体制および自立支援給付などの円滑な実施を確保するため、「第7期障がい福祉計画」および「第3期障がい児福祉計画」を策定します。
- ・「海部南部権利擁護センター」は、多様化、複合化している相談などに対し、専門相談員を増員し、身近なところで専門的かつ総合的な相談が受けられるようセンター機能の充実を図ります。

基本
目標

3

心豊かで文化を育む人づくりのまち

学校教育

- ・スクールカウンセラーを中学校を拠点に拡充配置し毎日相談できる体制とともに小学校にも巡回できる体制を整え、スクールソーシャルワーカーと連携し、子どもたちや保護者の心のケアと家庭支援の充実を図ります。
- ・特別支援教育も、知識・経験が豊富な特別支援教育コンダクターを配置し、発達に特性のあるお子さんへの対応の強化と教員の気付きのためのスキルアップ、そして、指導力向上を図るとともに、保護者からの相談体制も充実させます。
- ・令和5年度から中学校に入学されたお子さんを養育している保護者に対し、入学お祝い金5万円を支給します。
- ・「弥富市小中学校未来構想」に基づき、令和7年4月の中学校再編に向け、弥富中学校の改修に係る設計を実施し、小中学校の再編も、令和10年4月に向け、地域の声を聴きながら計画を進めます。

文化・スポーツの充実

- ・心から幸せを感じることができるよう文化活動を推進することや、「いつでも、どこでも、だれでも」スポーツを楽しむ機会を継続して提供し、生涯にわたり心身共に健康で文化的な生活を営むための土壌を整えます。

文化財の保存・活用

- ・コロナ禍により多くの自治会や保存会において、地域の伝統文化の継承が中断を余儀なくされてきたことから、令和5年度は、無形文化財伝承活動の支援に重点的に取り組みます。

基本
目標

4

人と地域の資源を活かし、にぎわいを生み出すまち

農業の振興

- ・農業用機械や施設の更新に対する支援を始め、本市独自の支援であります国の戦略作物とする、主食用米から飼料用米・小麦・大豆への転作補助や、カメムシ共同防除費用の一部補助も引き続き支援します。

観光の振興

- ・令和4年10月にオープンしたYaToMiAQUAを本市の観光情報発信拠点とし、引き続きイベントなどを企画し、本市の特色を生かした情報を発信するとともに、観光協会のホームページを立ち上げ、発信力の強化を図ります。

基本
目標

5

良好な都市基盤が整った便利で快適に暮らせるまち

下水道整備

- ・公共下水道事業は、市街化区域および人口集中地域の佐古木地区・鯛浦地区の整備を進め供用区域を拡大し、普及率の向上を図るとともに接続促進に努めます。

道路網の整備

- ・都市計画道路名古屋第3環状線および主要地方道弥富名古屋線は、鋭意、整備が進められておりますが、一日でも早く市内の道路ネットワークを構築するため、関係機関へ引き続き積極的に要望してまいります。
- ・木曾川高潮堤防未整備区間の整備に併せて、国道1号の尾張大橋架け替えを含む国道1号の4車線化の早期事業計画ならびに大規模災害時の避難および救命・救護活動などに必要となる地域高規格道路一宮西港道路の早期実現に向けて関係機関と連携し、必要な取り組みを推進します。